

8 その他

番号	対策の名称
⑦	店舗運営における BEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）の活用事例
内容	BEMS は、エネルギーと設備機器の使用状況を詳細に把握・分析し、より効率的な運転計画や目標設定を行うことにつながるシステムです。これにより、建物全体のエネルギー消費、電気料金を最小化することに寄与します。以下に、スーパーマーケットにおける BEMS 活用事例を示します。 〈スーパーマーケットでの活用事例〉 ○各店舗の使用実態の把握・集計と各店舗への配信 各店舗の BEMS から得られたエネルギー使用量データを設備別(主メータ、空調、店舗照明、ケース照明、冷凍機等)で集計し、設備別エネルギー使用量の昨年度からの増減率をランキング形式でとりまとめ、全店舗に配信しています。また、気候条件等の違いを考慮したゾーン別での集計・配信も行っています。 ○各店舗への働きかけ ランキングにおいて、連続して下位となった店舗の管理者に対し、BEMS から得られたデータを用いた研修を実施しています。 ○研修内容 ①エネルギー使用量の比率が高い設備の把握(冷凍機とケース照明) ②エネルギー使用量を増大させる要因の実地調査(冷凍機のハニカム(エアカーテン)の目詰まり、ケースの霜付きの状況等を確認) ③対策の検討及び実施(ハニカムの清掃、ケースの霜取り、ケース照明の間引き等) ④対策による効果の確認 ○対策効果の実証試験 一部の店舗にエネルギー使用実態をより詳細に把握することができる BEMS を導入し、様々な対策の実施により得られる効果の確認を行っています。確認の結果、効果が大きいと認められた対策については、各店舗に水平展開することとしています。
効果	エネルギー使用量実態を詳細に把握することで、対策を実施した場合の削減効果の量を、より正確に推計することが可能となります。また、設備群別のエネルギー使用量を他店舗や過年度と比較することで、省エネ対策の掘り起こしや省エネ意識の高揚等がもたらされます。
ポイント	・BEMS を導入するためには導入費用や BEMS を運用・管理する人員が必要となります。しかし長期的に見れば、POS レジを導入し、売上の実態を分析することで売上増につなげていくことと同様に、BEMS を導入し、エネルギー使用実態を分析することでエネルギー使用量の削減につなげていくことが可能となります。